

日本エム・イー学会平成15年度第4回理事会議事録

日時：平成15年12月19日（金） 14:00～17:15

会場：学士会分館

<出席者>

会長：上野照剛

副会長：赤澤堅造、安藤譲二

理事：石原 謙、荻野和郎、神谷 暲、北畠 顕、佐藤正明、砂川賢二、辻岡克彦、林紘三郎、堀 正二
山越憲一

監事：千田彰一

特別委員長：楠岡英雄

支部長：栗城真也（北海道）

幹事：伊良皆啓治、岩坂正和

事務局：高柳 建

<欠席者>

理事：岡田正彦、梶谷文彦、菊地 眞、佐藤俊輔

監事：星宮 望

特別委員長：稲田 紘（ME技術教育）、小野哲章（CE）

支部長：佐々木和男（北陸）、寺本 滋（中国・四国）、飛松省三（九州）、山内一信（東海）、米澤義道（甲信越）

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成15年度第4回理事会議事録（15-4-2）が承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧された。顧問の本間三郎先生から退会の申し出（15-4-3-②）は、名誉委員推薦の可能性を考え、次回の理事会まで検討することとなった。その他については承認された。この結果、正会員11増で2,713名、正会員海外1名の41名、準会員（国内）5名増で395名、準会員（海外）1名となった。維持会員の数は変わらず、31社45口である。顧問2名減の21名、名誉会員4名増の34名である。（15-4-3-①）。
4. 学術：佐藤正明理事より生体医工学サマースクール「生体医工学における数理モデル」を 2004年8月1日-3日 富山県インテック大山にて開催することが提案され（15-4-4）、30万円の助成を行うことが承認された。
5. 総務：佐藤正明理事より、学術、教育、出版、国際交流などの分野で日本エム・イー学会の発展に寄与した方に対して、功績賞をおくる功績賞規定が提案された（15-4-5）。エム・イー学会としては、この賞に対して一切の財政的負担を行わず、賞状の授与を行うのみとすることが承認されたが規約の詳細に関しては、規約担当理事が案を作成し、次の理事会で承認を得ることが了承された。また、功績賞選奨委員会の設置に関しては、選奨委員長安藤副会長に一任することが承認された。
6. 総務：佐藤正明理事より、調査研究会「横断型基幹科学教育に関する調査研究会」の参加について提案され審議された（15-4-6）。この調査研究会は、JABEEの認定基準にそった、横断型基幹科学技術者教育カリキュラム構成を検討することを目的とし設立されるものである。審議の結果、この調査研究会にエム・イー学会として参加することが決まり、参加者の人選は教育委員会に一任することが承認された。
7. 2005年に開催される第44回大会について、大会長、場所等が審議されたが、本理事会で決定にいたらず、次回理事会までに決定することが了承された。また、この時期にIFMBEのASIA-Pacific大会が開催することが報告された。
8. 上野会長より、韓国で行われるWorld Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2006と同時期に、日本エム・イー学会大会を韓国国内で開催することが韓国医用生体工学会から申し出（15-4-8-①）があることが報告され、大会の韓国開催の可否が審議された。審議の結果、日本エム・イー学会として、時期的にも韓国開催は難しいと、韓国へ返答することが決まった。
9. 名誉会員の資格が、日本エム・イー学会顧問や外国の研究者にもあるのか議論されたが、名誉会員規定第3条第2項の適用により、顧問や外国の方も名誉委員の推薦が可能であることが確認された（15-4-8-②）。そこで、外国人名誉会員として、R. Nerem（米国）、PÅ. Öberg,（スウェーデン）の2氏を推薦する意向であることが上野会長より述べられた。
10. BME：楠岡BME誌編集委員長より、第18巻第1号から生体医工学誌とともに、現在のB5版から、A4版に変更が行われ、それに伴い表紙のデザインも若干変更となることが報告された（15-4-9）。また、学生向け特集号であるBME誌17巻1号が平成15年10月末で、1114部の残部があり、この残部の活用法に関して審議された。この残部は、新規会員の勧誘に用いることは同意されているが、現在のところ決まっているのは、中四国、北陸各支部の地方会において配布をするための各20部、金沢での第43回大会で配布予定の

100部、名古屋で開催された日本コンピュータ外科学会で20部の配布のみである。審議の結果、残りの約1000部は、(1)評議員にアンケートを行い、配布希望部数を募る (2)臨床工学技師の養成校に送付 (3)電子情報通信学会との共催で行われているバイオサイバネティクス研究会で配布をする。(4)全国の関連教授に送る。(5)少々手直しして一般書として頒布することも検討する。等が決定した。

11. 選挙管理：選挙管理委員会辻岡委員長より、平成16・17年度理事・幹事の候補者としてM系候補12名、E系候補9名が決定したことが報告された。(15-4-10) また、第42回札幌大会の総会のときに問題提起された理事会の新陳代謝に関して、理事の定年制、理事の選出法について議論された。その結果、企画・活性化委員会において、理事の定年制、理事の選出法に関する案をまとめ、理事会に提案し審議することが承認された。委員会のメンバーとして、梶谷、山本、山越、砂川の各企画(活性化を含む)担当理事に加え、荻野、堀(以上財務)、赤澤、佐藤(正)、辻岡、石原各理事、楠岡BME誌編集委員長が決定した。
12. 総務：佐藤正明理事より、日本人工臓器学会、日本コンピュータ外科学会、および本学会の3学会が連携して、医療機器研究開発促進のためのガイドラインを作成する事業が開始されることが提案され、本学会の参加の可否が審議された。審議の結果、本学会の参加が承認され、本学会から菊地理事が参加することとなった。M系の参加社に関しては菊地理事に一任することとなった。(15-4-10)
13. ME技術教育：山越理事より、ME技術教育委員会委員の追加の提案がなされ、新規委員として、岩橋正國氏、三戸恵一郎氏、酒井順哉氏、目黒勉氏、中川貴氏の5名の追加が承認された(15-4-12-①)。また、ME技術実力検定試験制度25周年記念事業を行うにあたり、実行委員長として東海大学池田研二教授が選任された。なお実行委員の選任は実行委員長に一任することがあわせて了承された。
14. 学術：辻岡理事より専門別研究会の運営について、研究会を短期集中型(最大3年 年間4回以上)、および長期持続型(最大10年 年間1-3回)の2種類とし、補助金額として、初年度は開催回数×2万5千円(上限10万円)、次年度以降は、回数として、前年度実績回数と申請回数のうち、少ない方とする案を、専門別研究会協議会に提案して承認されたことが報告された。これに伴い専門別研究会規定の改定が変更が承認された(15-4-13-①)。
15. 財務：荻野理事より平成15年度会計中間報告、および平成16年度収支予算案が提案された。学会財政について、諸対策が講じられ、成果が見られるものもあるが、会員数の減少は続いており、大変厳しい状況であることが指摘された。平成15年11月末現在運転資金は底をつき、(財)日本学会事務センターより590万円余の融通を受けている現状である。このため、当面の資金繰りの正常化を測るために試験資産より1千万円を本部会計に振替えることが提案され、承認された。試験資産より振り替えるにあたり、ME技術実力検定試験に対するME技術教育委員会への協力、EM・イー学会本体の財政状況改善の努力を行うことが確認された。財務状況改善の案として、BME誌発行回数の削減、会費の値上げ、理事会の回数の削減、BME誌を生体医工学誌に合併させる、秋季大会の廃止、会員増の努力を積極的に行う、臨床工学技師を学会員として取りこむ等が提案された。BME誌の発行号数に関しては次回理事会までに、BME誌編集委員会で検討し報告することとなった。これら提案事項に関しては、学会活動の本質に関わる問題も含まれており、慎重に議論する必要があるため、企画・活性化委員会で検討し案を作成し、理事会に提案することとなった。
16. 第43回大会大会長山越理事より、第43回大会進捗状況が報告された。12月12日現在一般演題465件の申し込みがあり、企画プログラムは2件の招待講演、3件の特別講演、一般シンポジウム、特別シンポジウム、オーガナイズドセッションが行われ、全体として約620演題となった。また、大会期間中の理事会は5月19日(水)午後6時30分より行うことが報告された。
17. 石原理事より、第18回秋季大会準備状況が報告された。2004年11月5日、6日愛媛県立文化会館で行うことが報告された。
18. 次回理事会は3月8日学士会館分館で行われ、会長選挙も行われることが報告された。
19. その他 上野会長より2004年1月23日に開催されるMEフォーラム2004の案内がなされた。また、赤沢副会長より生体医工学シンポジウムが2004年9月29日、30日の2日間開催されることが報告された(15-4-12-①)。なお、このシンポジウムで発表した論文は査読審査され生体医工学誌12月号、および3月号に特集号として掲載されることが報告された。

(配布資料)

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 15-4-1 | 平成15年度第4回理事会議題 |
| 15-4-2 | 平成15年度第4回理事会議事録(案) |
| 15-4-3-① | 平成15年度第4回理事会入退会審査対象者 |
| 15-4-3-② | 退会届(本間三郎) |
| 15-4-4 | 2004年度 生体医工学サマースクール開催提案書 |
| 15-4-5 | 日本EM・イー学会功績賞規定(案) |
| 15-4-6 | 横断型基幹科学教育に関する調査研究会 研究会設置申請書 |
| 15-4-8-① | 2006年日本ME学会韓国開催の申し出 |
| 15-4-8-② | 名誉会員規定 |
| 15-4-9 | BME編集委員会資料 |
| 15-4-10 | 社団法人 日本EM・イー学会 平成16・17年度理事・監事候補者推薦結果 |

15-4-11	3 学会連携による「医療機器開発促進のためのガイドライン」の作成
15-4-12-①	ME 技術教育委員会（案）
15-4-13-①	日本エム・イー学会平成 15 年度専門別研究会協議会議事録
15-4-14-①	社団法人日本エム・イー学会平成 15 年度専門別研究会協議会議事録
15-4-15	第 43 回日本エム・イー学会 平成 15 年度会計中間報告
15-4-16	2004 年 第 18 回日本エム・イー学会秋季大会のお知らせ
15-4-17	平成 15 年度理事会日程決定のお知らせ
15-4-18-①	ME フォーラム 2004 「医用生体工学の新しい流れ」
15-4-18-②	「生体医工学シンポジウム 2004」のご案内（案）